

CONTENTS

▼オピニオン

・先進地域の今・そして未来（後編）：野村吉春

CNCNP通信

VOL.98／2022.6.5

■今月の土木■



▼コラム

・わかりやすい土木25
道路の建設プロセス(2)
：大友正晴

▼フォーラムから

▼委員紹介：白石典子
▼社会人・大学院生のための防災人材育成プログラム：三上卓
▼土木学会委員会等をつなぐ活動の紹介
・新潟・大河津分水と世界をつなぐ：伊東佑香
・若手現場技術者教育に向けての取組み：加藤隆
・身近にあるD&Iを話そう：佐々木葉
・橋ってなんだ？
～あたりまえと土木～
：城古雅典

▼事務局通信

【上】夏は人気の水場スポット

【右】田植えが始まるころから、水量が多くなる



■湧き上がる宝の水：東山円筒分水槽

3つの農業用水に公平に分配する円筒分水槽（1955年完成）で、2020年に国の登録有形文化財（建造物）に登録されました。直径9.12m、高さ約2.5mで、各水路へ分配される水量は、水槽の縁の仕切り壁の位置（円周の長さ）で決まります。溢れる水の落差がこれだけあるものは珍しく、「日本一美しい円筒分水槽」と評され、観光スポット・パワースポットとして注目されています。水量が多いのは5～7月。

※あいの風とやま鉄道魚津駅より車で約12分／市民バス「天神ルート」東山公民館にて下車、徒歩約800m

【写真：富山県魚津市観光協会提供】